

こぎいで 古田の歴史めぐり

ガイドマップ

こぎいで(漕ぎ出)

古江地区は昔、入江となっており港があった。
人々は船でこの地へ乗り入れたり、ここから漕ぎ出し、出発していた。
グループ「こぎいで古田の歴史めぐり」は、その昔に思いを馳せ、
まちの魅力と特性を生かしたまちづくり活動を始めた。



2 草津八幡宮



15 福蔵寺



6 道路改修碑



3 海蔵寺



11 新宮神社



13 誓立寺



18 上田流和風堂(意太)



21 大歳神社

9 社倉(しゃそう)跡

江戸時代に建てられた、飢饉や災害などの非常時に備えて、米等を貯蔵しておく倉のこと。(現在はありません)

10 街道松跡

江戸時代に西国街道が整備され一里塚を作り街道に沿って松が植えられた。古江郵便局付近には昭和61(1986)年8月までは街道松があった。



11 新宮神社

南北朝時代に泉津事解男命、伊邪那美命を祭神として祀ったのが始まり。神楽は「十二神紙の神楽」で岩見神楽より古く、特に「荒平」は珍しく神楽を奏する際の花火は手作りです。素晴らしい。昭和30(1955)年に社殿は西向きから南向きに移築された。

12 新宮の鼻跡

昔は海に突き出た半島の先で何かと目印になり、有名な所であった。現在はマンションと古江東第一公園となっている。



13 誓立寺(せいりゅうじ)

発祥は甲斐國圓明院。武田信光の三男が出家し開基となった。永正年中(1504~1521)真宗に改宗し清立坊と号し慶長年中(1596~1615)には立町に移転し、元和9(1623)年、寺名を誓立寺に改称した。原爆により焼失、昭和23(1948)年、現在地に移転した。江戸時代に塾「幻華庵」が建立され浄土真宗の高僧「雲幢」が塾生を教えた。明治6(1873)年6月6日、幻華庵を校舎として元興館が開校し、古田小学校の起源となった。

14 翠江園(すいこうえん)跡

藩主浅野家の別邸跡で、このあたりから眺める庭の景色が美しく「翠江園」と呼ばれていた。

15 福蔵寺

「子宝地蔵」、「おびし地蔵」と言われ、子宝を願って多くの人が参詣した。

源範頼の墓…本堂裏に「蒲冠者源範頼廟」と記された五輪塔は浅野直道が建立。源家の御曹司を偲ぶ物語、伝説が語りつがれた。
由縁齋の碑(文学の碑)…江戸時代(230年前頃)広島は「狂歌」が盛んで永田由縁齋の偉業を偲び広島狂歌の会が建てた。
六地蔵…中央が「迎え地蔵」、左右各三体が「六地蔵」。

16 三輪明神広島分祠(みわみょうじんひろしまぶんし)

奈良県にある日本最古の神社、大和国一之宮大神神社からご神体山「三輪山」のご神木を頂き、ご社殿を営んだ大神神社の御分霊を祀る神社。

17 一楽山荘(いちらくさんそう)跡

桃園の持ち主が桃の花見の時期に期間限定で茶店を開いていた。そのなかでも一楽山荘は特に有名な茶店だった。現在は団地となっている。

18 上田流和風堂(うえだりゅうわふうどう)

桃山時代の武将上田重安(宗箇)を流祖とし、上田家代々によって、広島に受け継がれてきた武家茶道上田宗箇流茶寮。広島城内にあった上田家上屋敷の茶室を復元したもの。

19 延命(えんめい)地蔵

長生きをかなえてくれる地蔵菩薩で、旅人が安全を願った。上の地蔵とともに福蔵寺への道しるべであった。

20 一里塚跡

広島からの里程の基点元安橋東詰から西に向かって、一里(約4キロ)に「西国街道」の一里塚があった。(現在の高須一丁目7番付近)

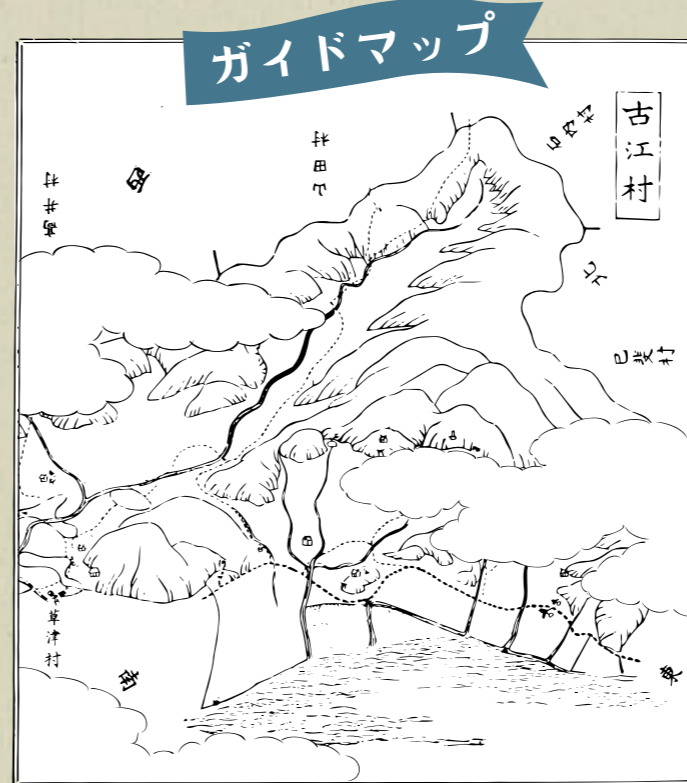
21 大歳(おおとし)神社

被爆建物。約650年前創建。高洲(高須)の豊作を祈念して、大歳神社で大歳神(五穀豊穰)と煮炊き奥津比売命(かまどの神)を祀った。

22 瀬切石(せきりいし)跡

己斐村と古江村の境界だった地点。昔は潮の流れが変わる場所。今は小さな祠が建っている。

こぎいで古田の歴史めぐり



編集後記

「こぎいで古田の歴史めぐり」のマップ改訂第2版を発行して早10年の歳月が流れ、古田の「まち」も変わって来ましたが、私たちがガイドする名勝、旧跡も変化が見られ時代が動いているのを感じています。今回は江戸時代に作成された「芸藩通志」を参考に作成しました。昔、むかしに思いをはせてマップ片手に「まちあるき」を楽しんで頂ければ幸いです。このマップが「地域のコミュニティづくり」の一助になれば、大変嬉しく思います。

参考資料/
広島市立古田小学校百年史(昭和49年6月発行)
広島市立古田小学校百二十年史(平成6年12月発行)
芸藩通志(1820年発行)

こぎいで古田の歴史めぐり 改訂第3版
企画・編集 こぎいで古田の歴史めぐり・広島市古田公民館
発行 広島市西区役所・地域こし推進課
古田学区社会福祉協議会
問い合わせ 広島市古田公民館
広島市西区古江西町19-15
TEL082-272-9001



令和4年9月発行

1 草津城跡(くさつじょうし)

創建時ははっきりしてないが戦国時代、安芸武田氏、大内氏、厳島神社主家、陶氏、毛利氏が競って奪い合った山城。古代から水軍、水運などの重要拠点だった。広島城主の福島正則が山陽道に広島の西の関所となる大門を作り、1601年廃城となった。

2 草津八幡宮

祭神:品陀和気命、息長帯比売命、常中津日子命。社伝によると推古天皇(593~628)の時代に、多紀理姫命を海路の守護神として祀ったのが始まり。昔から井口より高須、古江、庚午、さらに奥の山田に至る西地区一帯の総氏神。各町の氏神社や地域の神社の「御本社」の中で歴史が最も古いので「元社」と呼ばれてきた。

3 海蔵寺

応永年間(1394~1428)に中国の僧、慈眼禅師が創建したといわれている曹洞宗の寺院。江戸時代には東城浅野家の菩提寺として明治初年まで続いている。本堂、山門は被爆建物。墓所には北条氏道、山中鹿之助の次女盛江、東城浅野家などの五輪塔があり、本堂の裏には石組庭園がある。草津小学校の前身立基館が置かれた。

4 古田公民館/古田児童館

古田中学校区(山田、古田台、古田、高須小学校)の公民館。生涯学習、ボランティア活動の場として多くの地域住民が利用している。児童館も併設されている。

5 四軒茶屋(よんけんぢや)跡

江戸時代の西国街道(旧山陽道)と、石内・伴・久地などからの道が交わるあたりにあった茶店跡。

6 道路改修碑

明治43(1910)年4月に石内・伴・久地などから古江経由で、広島へ物資を運ぶ道路を馬車が通れるように広く改修した記念碑。

7 こぎいで(漕ぎ出)

古江は昔、古田小学校の北側あたりまで海で港があった。旅人は船でここから漕ぎ出し、上陸することもできた。人々はこのあたりのことを「こぎいで」または、「こぎで」と呼んでいた。

8 古江西第一号貝塚遺跡

縄文・弥生時代の土器、石器、奈良時代の建物の跡、円形の焼き物の碗のかけらなどが発見された。現在はマンションあたり。